



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月28日

上場会社名 株式会社トモク

上場取引所 東札

コード番号 3946 URL <https://www.tomoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中橋 光男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経理部長 (氏名) 山口 禎人

TEL 03-3213-6811

四半期報告書提出予定日 2022年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	49,156	3.5	△130	—	468	△21.2	381	69.1
2022年3月期第1四半期	47,517	30.6	541	—	594	—	225	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 960百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 21百万円 (△89.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	23.26	—
2022年3月期第1四半期	13.81	12.61

(注) 2023年3月期第1四半期の包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	191,143	76,642	39.8
2022年3月期	190,018	76,126	39.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 76,165百万円 2022年3月期 75,661百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	27.00	52.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		28.00	—	32.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	107,000	8.8	3,000	13.6	3,200	15.6	1,900	11.5	115.72
通期	230,000	11.6	10,000	20.0	10,500	16.9	6,500	8.7	395.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	19,341,568 株	2022年3月期	19,341,568 株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,922,677 株	2022年3月期	2,922,651 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	16,418,913 株	2022年3月期1Q	16,352,468 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資などに持ち直しの動きがみられる一方で、消費者物価の上昇やウクライナ情勢の長期化による不透明感、原材料価格の上昇がみられ、対米ドル円レートは円安方向へ推移しています。

その中で当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は49,156百万円（前年同期比3.5%増）、経常利益は468百万円（前年同期比21.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は381百万円（前年同期比69.1%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

〔段ボール〕

国内段ボール部門は、各商品の値上げの発表が相次ぎ、消費者の節約志向の影響を受け、生産量は前年並みで推移しました。

段ボールは主材料である原紙価格の上昇や重油・ガス・電力料等の値上がりを受け、期初から製品値上げに取組みましたが、値上げの決定時期の遅れもあり売上高は27,157百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は556百万円（同62.2%減）となりました。

〔住宅〕

住宅部門では、(株)スウェーデンハウスの販売棟数は前年同期比増加したものの、(株)玉善の販売棟数は来場者数減により前年同期比減少となりました。

住宅の売上高は11,356百万円（前年同期比10.6%減）となりました。収益面では売上高が第4四半期に集中するため営業損失が1,011百万円（前年同期は営業損失1,309百万円）となりました。

〔運輸倉庫〕

運輸倉庫部門では、飲料関係を中心とした取扱数量の増加や(株)トーウンTLP札幌の稼働により増収となりましたが、原油価格高騰の影響を受けた燃料費の上昇もあり、減益となりました。

運輸倉庫の売上高は取扱数量の増加により10,642百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益は522百万円（同3.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産や棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末比1,124百万円増加の191,143百万円となりました。負債は賞与引当金等が減少しましたが、借入金やその他流動負債の増加等により前連結会計年度末比608百万円増加の114,500百万円となりました。純資産の部は為替換算調整勘定の増加等により前連結会計年度末比516百万円増加の76,642百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、2022年5月9日に発表いたしました業績予想の達成に引き続き努めてまいりますので、これを変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,701	13,009
受取手形、売掛金及び契約資産	28,706	30,873
電子記録債権	5,906	6,285
棚卸資産	24,597	26,505
その他	5,349	5,311
貸倒引当金	△47	△54
流動資産合計	81,213	81,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	35,249	35,299
機械装置及び運搬具（純額）	18,862	19,274
土地	33,284	33,580
その他（純額）	3,519	3,188
有形固定資産合計	90,916	91,343
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	7,855	7,763
その他	8,623	8,762
貸倒引当金	△315	△291
投資その他の資産合計	16,163	16,234
固定資産合計	108,804	109,213
資産合計	190,018	191,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,633	22,552
短期借入金	9,133	10,840
1年内返済予定の長期借入金	3,871	4,953
未払法人税等	1,880	239
賞与引当金	1,981	917
その他の引当金	415	243
その他	9,510	11,034
流動負債合計	49,426	50,781
固定負債		
長期借入金	54,164	53,677
退職給付に係る負債	3,590	3,568
その他の引当金	417	390
その他	6,292	6,081
固定負債合計	64,465	63,718
負債合計	113,891	114,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,276	11,276
利益剰余金	50,558	50,497
自己株式	△4,213	△4,213
株主資本合計	71,291	71,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,822	2,767
為替換算調整勘定	481	1,150
退職給付に係る調整累計額	1,066	1,018
その他の包括利益累計額合計	4,370	4,936
非支配株主持分	464	476
純資産合計	76,126	76,642
負債純資産合計	190,018	191,143

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	47,517	49,156
売上原価	40,704	42,604
売上総利益	6,812	6,552
販売費及び一般管理費	6,270	6,682
営業利益又は営業損失(△)	541	△130
営業外収益		
受取利息及び配当金	105	103
為替差益	-	494
雑収入	116	190
営業外収益合計	222	788
営業外費用		
支払利息	99	121
雑損失	69	67
営業外費用合計	168	189
経常利益	594	468
特別利益		
投資有価証券売却益	1	34
特別利益合計	1	34
特別損失		
固定資産処分損	6	16
減損損失	18	1
特別損失合計	24	18
税金等調整前四半期純利益	571	484
法人税、住民税及び事業税	460	223
法人税等調整額	△133	△133
法人税等合計	326	89
四半期純利益	244	395
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	225	381



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	244	395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△187	△55
繰延ヘッジ損益	△3	-
為替換算調整勘定	6	669
退職給付に係る調整額	△38	△48
その他の包括利益合計	△223	564
四半期包括利益	21	960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1	947
非支配株主に係る四半期包括利益	23	12

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,176	12,697	9,642	47,517	—	47,517
セグメント間の内部売上高 又は振替高	142	17	1,324	1,484	△1,484	—
計	25,319	12,715	10,967	49,001	△1,484	47,517
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,474	△1,309	539	703	△162	541

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△162百万円には、セグメント間取引消去37百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△200百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,157	11,356	10,642	49,156	—	49,156
セグメント間の内部売上高 又は振替高	91	21	1,407	1,519	△1,519	—
計	27,249	11,377	12,049	50,676	△1,519	49,156
セグメント利益又は セグメント損失(△)	556	△1,011	522	67	△197	△130

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△197百万円には、セグメント間取引消去35百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△233百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。